



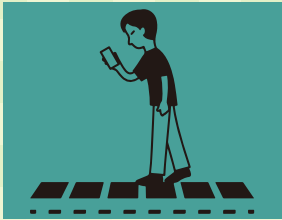
スマホ・ネットを かしこく安全に使うために



オンラインの機会が増えています。「やりすぎ」は子どもたちの生活に影響を与えています。現状を知り、ルールづくりを行い、やりすぎやトラブルを防ぎましょう!

インターネットにつながる電子メディア機器は、子どもたちにとって、家でも学校でも欠かせないものになりつつあります。一方、これらの機器に夢中になりすぎ、適切に使えないことで、学業や健康に対して好ましくない影響があったり、金銭、個人情報、人間関係などのトラブルを招きやすくなっています。

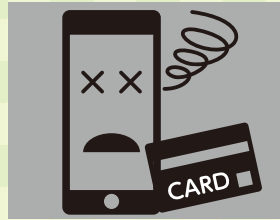
子どもたちが成長していく中で、適切な使い方ができるようになるため、家庭・地域・学校で、どのような課題があるのか学び、どんな取り組みを行えばよいか、一緒に考えていきましょう。



▲ネット・ゲーム依存



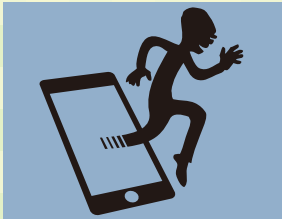
▲ワンクリック詐欺・架空請求



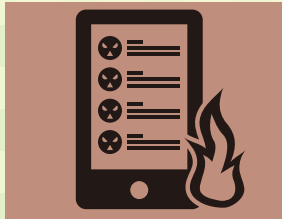
▲高額課金トラブル



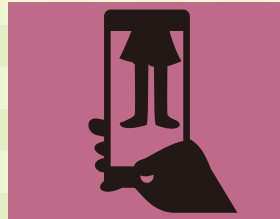
▲アカウント乗っ取り・ウイルス感染



▲個人情報の流出や拡散



▲ネットいじめ



▲性被害



©2022長野県将来世代応援県民会議

適切な使い方を学ぶための参考HP・リーフレット



信州ネット トラブルバスターズ

ネットトラブルの応急対応法と相談窓口の紹介ページ



県リーフレット

みんなが笑顔になるようなネットの使い方をしよう



国リーフレット

保護者が正しく知っておきたい4つの大切なポイント

令和3年度「スマホ、タブレット、ゲーム機等に関するアンケート」から 課題を考えてみましょう!

調査の概要

長野県・長野県教育委員会は、長野県内の児童生徒の電子メディア機器の利用実態を把握し、安心・安全な利用につなげるため、県内の教員や小児科医らで構成する「子どもとメディア信州」と連携して、標記のアンケート調査を実施しました。

調査は、令和3年5月から11月にかけて、県内の小学生(3年~6年、以下学年の表記は略)、中学生、高校生と、小中学生の保護者に対して行われました。

上田市は小学校と中学校で実施し、小学生は4,690人、中学生は3,424人の回答者でした。令和3年5月1日時点の市内小中学生の人数を基に計算すると小学生89.7%、中学生86.5%の回答率でした。

質問は全部で15問あり、児童生徒が自分に当てはまる選択肢を選んで回答する方法で行われました。

夢中度・約束・ペアレンタルコントロール

次ページで、以下の3問について、上田市の児童生徒の回答結果を紹介します。

「第11問 あなたは、スマホ、ゲーム、インターネット(どれでもよい)に、どのくらい夢中になっていますか?」

「第12問 スマホやタブレット、ゲーム機を使うときのお家の人との約束はありますか?」

「第14問 ペアレンタルコントロール(親が時間制限、アプリ制限などを行っている)」

また、これら3問の回答をクロス集計で調べた結果を紹介します。夢中度、約束、ペアレンタルコントロールの関連性を一緒に考えてみましょう!



子どもが守ることができる約束を!

—夢中になりすぎず、適切に使えるようになるために—

夢中度・約束・ペアレンタルコントロールの回答結果

表1 スマホ等に夢中になっている度合い(第11問)

	夢中度・高	夢中度・中	夢中度・低	夢中度・無	N
小学生	7.3%	43.4%	38.8%	10.5%	4,690
中学生	5.5%	51.5%	38.6%	4.4%	3,424

表1 は、どのくらいスマホ等に夢中になっているかの回答結果です。夢中度・中について見てみると、小学生が43.4%、中学生が51.5%です。一方、夢中度・無は、小学生が10.5%、中学生が4.4%です。小学生より中学生の方が、夢中度が高い子どもが多いことがわかります。

表2 スマホ等を使うときの約束の有無(第12問)

	約束有り 守る	約束有り 守っていない	約束無し	無回答	N
小学生	62.8%	15.5%	14.4%	7.3%	4,690
中学生	48.7%	16.4%	30.4%	4.5%	3,424

表2 は、スマホ等を使うときの約束の有無についての回答結果です。約束が有り守っているのは、小学生62.8%、中学生48.7%です。一方、約束無しは、小学生14.4%、中学生30.4%です。小学生の方が、約束が有り守っている子どもが多く、中学生の方が、約束無しの子どもの多いことがわかります。

表3 ペアレンタルコントロールの有無(第14問)

	ペアコン 有り	ペアコン 無し	ペアコン 不明	無回答	N
小学生	38.3%	29.3%	25.3%	7.1%	4,690
中学生	30.3%	42.4%	23.7%	3.6%	3,424

表3 は、ペアレンタルコントロールの有無についての回答結果です。ペアレンタルコントロールの設定がされていないのは、小学生29.3%、中学生42.4%です。小学生より中学生の方が、ペアレンタルコントロールの設定がされていない子どもが多いことがわかります。



夢中度・約束・ペアレンタルコントロールのクロス集計と関連性

表4 約束の有無と夢中度の関連性

		夢中度・高	夢中度・中	夢中度・低	夢中度・無	合計	N
小学生	約束有り 守る	4.3%	38.3%	49.3%	8.1%	100.0%	2,943
	約束有り 守っていない	17.8%	65.6%	15.0%	1.6%	100.0%	729
	約束無し	10.8%	54.5%	28.0%	6.7%	100.0%	675
	無回答	3.2%	19.2%	19.8%	57.8%	100.0%	343
中学生	約束有り 守る	3.1%	44.4%	49.0%	3.5%	100.0%	1,669
	約束有り 守っていない	13.2%	73.1%	12.6%	1.1%	100.0%	562
	約束無し	5.5%	55.2%	36.6%	2.7%	100.0%	1,039
	無回答	3.9%	24.0%	35.1%	37.0%	100.0%	154

表4 は、約束の有無と夢中度をクロス集計した結果です。夢中度が高い子どもについて見ると、小学生では、約束が有り守っているが4.3%、約束が有り守っていないが17.8%で、13.5%の差があります。中学生では、それぞれ3.1%、13.2%で10.1%の差があります。夢中度が低い子どもについて見ると、小学生では、約束が有り守っているが49.3%、約束が有り守っていないが15.0%で、34.3%の差があります。中学生では、それぞれ49.0%、12.6%で36.4%の差があります。小中学生共に、夢中度が高いのは、約束が有るが守っていない子どもです。夢中度が低いのは、約束が有り守っている子どもです。集計結果から、「約束が有り守っていること」と「スマホ等への夢中度が低いこと」に関連性があること、また「約束が有っても守っていないこと」と「スマホ等への夢中度が高いこと」にも関連性があることが分かりました。

表5 ペアレンタルコントロールの有無の夢中度の関連性

		夢中度・高	夢中度・中	夢中度・低	夢中度・無	合計	N
小学生	ペアコン有り	6.3%	43.6%	43.8%	6.3%	100.0%	1,797
	ペアコン無し	9.5%	49.6%	35.0%	5.9%	100.0%	1,372
	ペアコン不明	6.6%	41.0%	38.0%	14.4%	100.0%	1,189
	無回答	5.7%	25.6%	29.5%	39.2%	100.0%	332
中学生	ペアコン有り	6.1%	51.1%	39.3%	3.5%	100.0%	1,037
	ペアコン無し	5.8%	57.6%	34.8%	1.8%	100.0%	1,453
	ペアコン不明	4.6%	45.8%	43.4%	6.2%	100.0%	812
	無回答	3.3%	20.5%	45.9%	30.3%	100.0%	122

表5 は、ペアレンタルコントロールの有無と夢中度をクロス集計した結果です。夢中度が中ぐらいの子どもについて見ると、小学生では、ペアコン有りが43.6%、無しが49.6%で、差は6%、中学生では、それぞれ51.1%、57.6%で差は6.5%です。夢中度が低い子どもについて見ると、小学生では、ペアコン有りが43.8%、無しが35.0%で、差は8.8%、中学生では、それぞれ39.3%、34.8%で差は4.5%です。いずれも、著しい差が無いことがわかります。



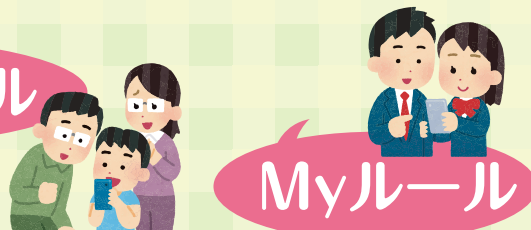
まとめ

- 小学生より中学生の方が、スマホ等に夢中になっており、約束が無かったり、ペアレンタルコントロールが設定されていない生徒が多くいます。
- 約束があっても守ることができなければ、かえって夢中度を高めることにつながる可能性があります。
- 夢中になりすぎず、適切な使い方ができるようになるためには、親子で話し合い、子どもが守ることができる約束を結んで、守っていくことが大切です。
- ペアレンタルコントロールは、子どもと親が時間やアプリ制限などの内容を話し合い、設定していくことが大切です。

スマホ等に夢中になりすぎて、トラブルに巻き込まれたり、健康被害をもたらさないためには、具体的で簡単なことから、親子で話し合っ使い方を決めていくことが大切なのではないでしょうか。

家族で話そう！ スマホ・ネットの

わがやのルール



Myルール

メディアコントロール 保護者の見守りから



自転車デビューのように
ルールを理解し安全に使えるまで
見守っていきましょう

幼児



親子のスキンシップを大切にしよう

- ・できるだけメディア(*)の利用は避けよう
- ・使う場合は、親子で一緒に「短時間」で「特別な場合」にしよう

小学校低学年



外遊びの時間を大切にしよう

- ・わくわくドキドキする体験を増やそう
- ・親子で話しをしながらルールを作ろう
- ・機器にフィルタリングやペアレンタルコントロールを設定しよう

小学校高学年



コミュニケーションを大切にしよう

- ・使う目的をはっきりさせよう
- ・メディア利用のルールは、家族で話しあって決めよう
- ・友だち同士でルールを作ってみよう

中学生



生活リズムを整えよう

- ・身体と心の健康に気を配ろう
- ・保護者は子どものメディア利用の状況や内容を知ろう
- ・他人とのやりとりに気をつけよう

高校生



自己管理をしよう

- ・社会の一員としてマナーを守ろう

慣れてきてもトラブルはあります
家族が一番の相談相手です

セルフコントロール 子どもの自己管理へ

スマホ・ネットのルール



ポイント5



1

時間や場所を決めよう!

- ・1日〇分まで
- ・寝る前は使用しない
- ・リビングで使う 寝室はNG

2

自分を大切にしよう!

- ・個人情報を書かない、教えない
- ・写真は載せない、送らない
- ・絶対に会いに行かない

3

友だちを大切にしよう!

- ・友だちの個人情報や写真は載せない
- ・悪口を書かない
- ・仲間はずしをしない

4

有害サイトをブロックしよう!

- ・フィルタリングやペアレンタルコントロールは勝手に外さない
- ・課金やインストールは家の人に相談

5

コミュニケーションを大切にしよう!

- ・家族の時間を大切にしよう
- ・困ったことは家族や先生に相談しよう

ルール作りのポイント!

保護者の方へ

- ◆親子で話し合い、子ども自身にルールを決めてもらいましょう。
- ◆少しでも守ることができたら、ほめましょう。
- ◆定期的にルールを見直す話し合いをし、子どもの心配事に耳を傾けましょう。
- ◆ルールを守れなかった場合はどうするか、子ども自身に決めてもらいましょう。(例：親に預ける)
- ◆ルールは子どもの成長に合わせて見直しましょう。



* メディアとはスマートフォン、タブレット、ゲーム機、パソコン、テレビ等の電子メディア機器を指す

学校・家庭・地域で取り組んでいます！

情報モラル学習・電子メディア利用の ルールづくり



子ども達が電子メディアを適切に利用できるようになるためには、家庭、地域、学校が連携して、情報モラル学習やルールづくりを進めることが必要です。

令和3年度は浦里小学校(学校保健委員会・PTA)、一中区幼保小中PTA・保護者会、第三中学校生徒会の取り組みを紹介します。



ICT機器の体験を通して情報モラルを考える

浦里小学校の学校保健委員会では、全児童にICT機器(学習用パソコン)が配布されることから、「ICT機器の活用の可能性と情報モラルの向上を考える」と題した講演会と、ICT機器を実際に利用する体験会を開催しました。「子ども達がこれからどのようにICT機器を活用していくのかがよくわかった」「メディアの危険性については特に説明していなかったのが、今後はデメリットについてもしっかり子どもに説明しようと思った」といった感想が寄せられました。

また、PTAでも、児童・保護者・学校運営協議会を対象とした「なかよし講演会」において、県内中学校長で情報モラルの専門家をお招きしてみんなで講演をお聞きしました。「インターネットにつながると楽しいことが多いけど、怖いこともたくさんあることを意識して、インターネットを使っていきたい」などの児童の感想が寄せられました。



浦里小学校



幼保小中で高めよう情報モラル! オンライン講演会の取りくみ

一中区幼保小中PTA・保護者会

一中区幼保小中PTA・保護者会(※)では、メディアコントロール月間(11月～12月)にあわせて、オンライン講演会を実施しました。県内小学校長で情報モラルの専門家の方に事前に収録を依頼し、「電子メディアとのつきあい方を見直そう～子どもも大人もいったん止まって～」と題した1時間の講演動画を、動画共有サービスで放映しました。

スマホ(SNS・ネットゲーム等)の危険性と心身の健康への影響や、スマホの上手な使い方についてお話をしていただきました。(※第一中学校通学区の中学校1校、小学校2校、幼稚園と保育園7園のPTAと保護者会で構成する組織)



生徒が中心になって作った 学校でのICT機器使い方のガイド

第三中学校生徒会

第三中学校生徒会は、生徒が学校生活でICT機器を利用するにあたって、「休み時間の利用」、「健康面に配慮した使用」、「インターネットの利用で誹謗中傷をしない」などについて、みんなで考えて申し合わせ事項を作成しました。

6月と7月に生徒会の代議員と教職員の代表が集まって座談会を開催し、生徒と教職員のアンケート結果を踏まえながら、意見を出し合いました。その後、代議員会の議長がこれまでの意見をまとめて原案を作り、職員会でも検討し、みんなで作りあげた使い方の申し合わせが10月に完成し、全生徒と教職員に周知がされました。

